

【受賞報告】 弘前大学医学部附属病院 消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科の原 裕太郎助手（消化器外科学講座所属）が第 52 回日本膵臓学会大会 Young Investigator Award 受賞しました

2021.12.17 更新

第 52 回日本膵臓学会大会において Young Investigator Award を頂きました。

日本膵臓学会は膵臓癌を代表とした膵臓病に関する研究の進歩および普及をはかることを目的とする学会です。

膵臓癌は難治癌であり 21 世紀に残された癌と呼ばれております。私は現在、大学院生として分子病態病理学講座で膵臓癌の研究をさせていただいております。今回、研究成果を第 52 回日本膵臓学会において「膵癌の予後を決める E-cadherin は CDH1 メチル化と miR-100-5p により制御される」という題名で発表させていただきました。膵臓癌治療では、早期発見および予後改善が求められており、その一端を担えるように研究を進めていこうと思います。今後は消化器外科医として研鑽を積むと同時に難治癌の克服に向けた学術研究に尽力していきたいと考えております。研究の指導をしてくださった袴田教授、水上教授をはじめとした指導医の先生方に感謝申し上げます。今後とも御指導御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

